

第 7 章 調査対象地域の現況

7 - 1 社会現況

7 - 1 - 1 人口分布

カンボディアの総人口は、1998 年の国勢調査によれば 1,068 万人であるが、1997 年の推定人口では 1,162 万 6,000 人と報告されている。カンボディアの人口構成は、若い年齢層に極端に集中しており、65 歳以上の高齢人口は 3 %（1997 年推定）に過ぎない。

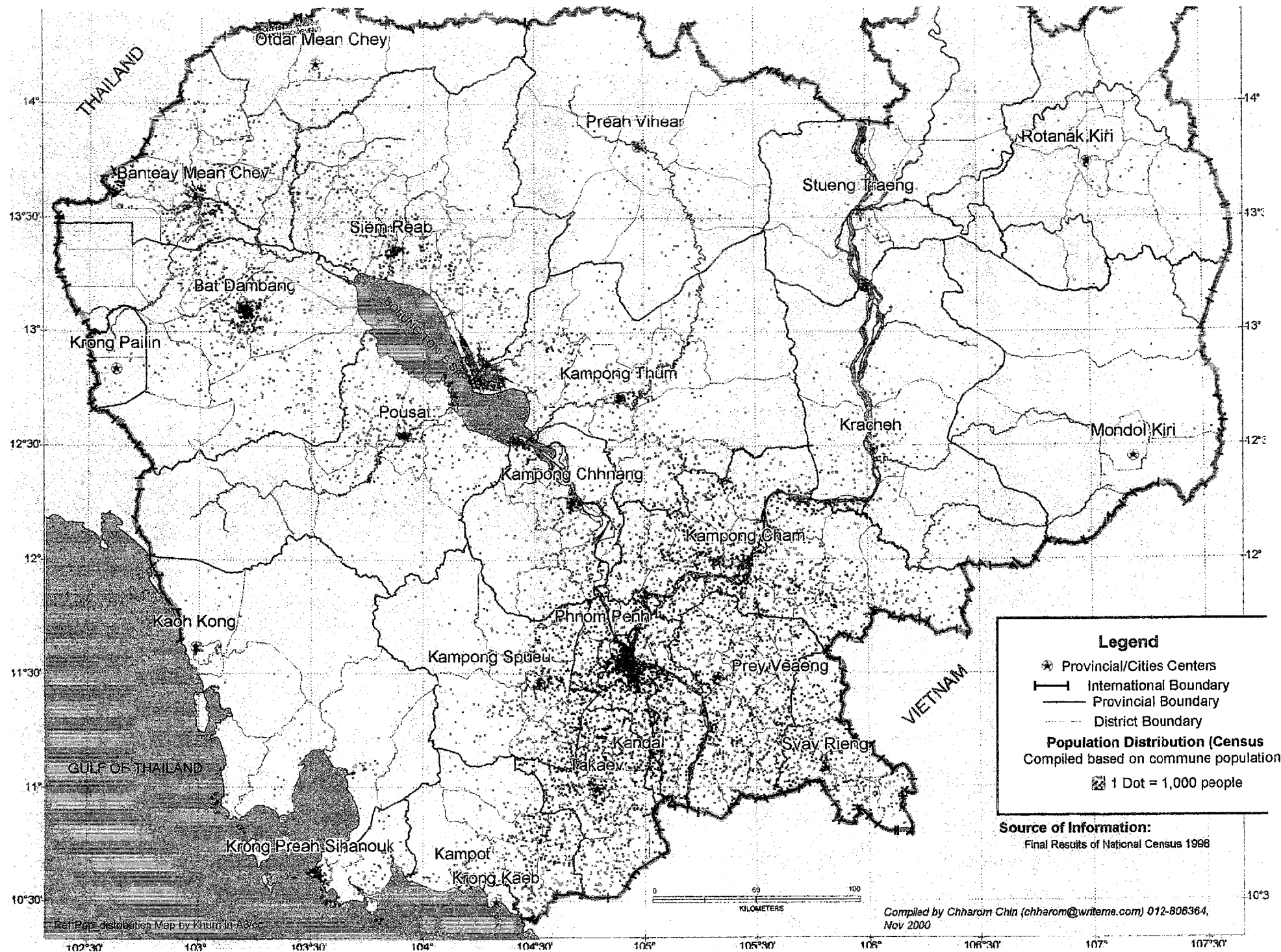
また、プノンペン市やバタンバン市など大都市への人口集中が進行し、都市域の拡大、農村部の過疎化が進行しているという。

国土全体の人口分布を見ると(図 7 - 1)、首都プノンペンをはじめ南部のメコン川沿いとシェムリアップをはじめとするトンレサップ湖周辺の地域に人口が偏在し、東北部のメコン川沿いや山間部、南西部は人口が希薄である。

表 7 - 1 カンボディアの州別総人口

Province 名	男	女	合計
Bateay Mean Chey	283,358	294,414	577,772
Bat Dambang	22,529	19,559	42,088
Kampong Cham	775,796	833,118	1,608,914
Kanpong Spueu	197,691	220,002	417,693
Kanpong Thum	287,392	311,490	598,882
Kanpot	272,844	296,216	569,060
Kandal	253,085	275,320	528,405
Kaoh Kong	515,996	559,129	1,075,125
Krachen	67,700	64,406	132,106
Mondol Kiri	130,254	132,921	263,175
Preah Vihear	59,333	59,928	119,261
Prey Vaeng	445,140	500,902	946,042
Pousat	172,890	187,555	360,445
Rotanak Kiri	46,396	47,847	94,243
Siem Reab	336,658	359,479	696,164
Stueng Traeng	40,124	40,950	81,074
Svay Rieng	225,105	253,147	478,252
Takaev	376,911	413,257	790,168
Otdar Mean Chey	34,472	33,807	68,279
Krong Kaeb	14,014	14,646	28,660
Krong Pailin	12,392	10,514	22,906
Phnom Penh	481,911	517,893	999,804
Krong Preah Sianouk	76,940	78,750	155,690
全国			10,686,615

図 7-1 人口の分布状況 (出典：I R I C)



7-1-2 道路交通網

カンボディア道路網は、首都周辺以外は概して未発達であり、メコン川によって東西の2つの地域に大きく分断されている。全国的にみても長大河川や山岳に影響されない南北方向の道路が基幹道路として整備されているが、東西方向や2次、3次の補助幹線としての道路網は十分に発達しておらず、道路の段階構成上機能性を欠く未熟な道路網をなしているのが現状である。

国道は1号から7号線まで7本があり、その総延長は198万8,140kmで整備密度は10.98km/km²である。

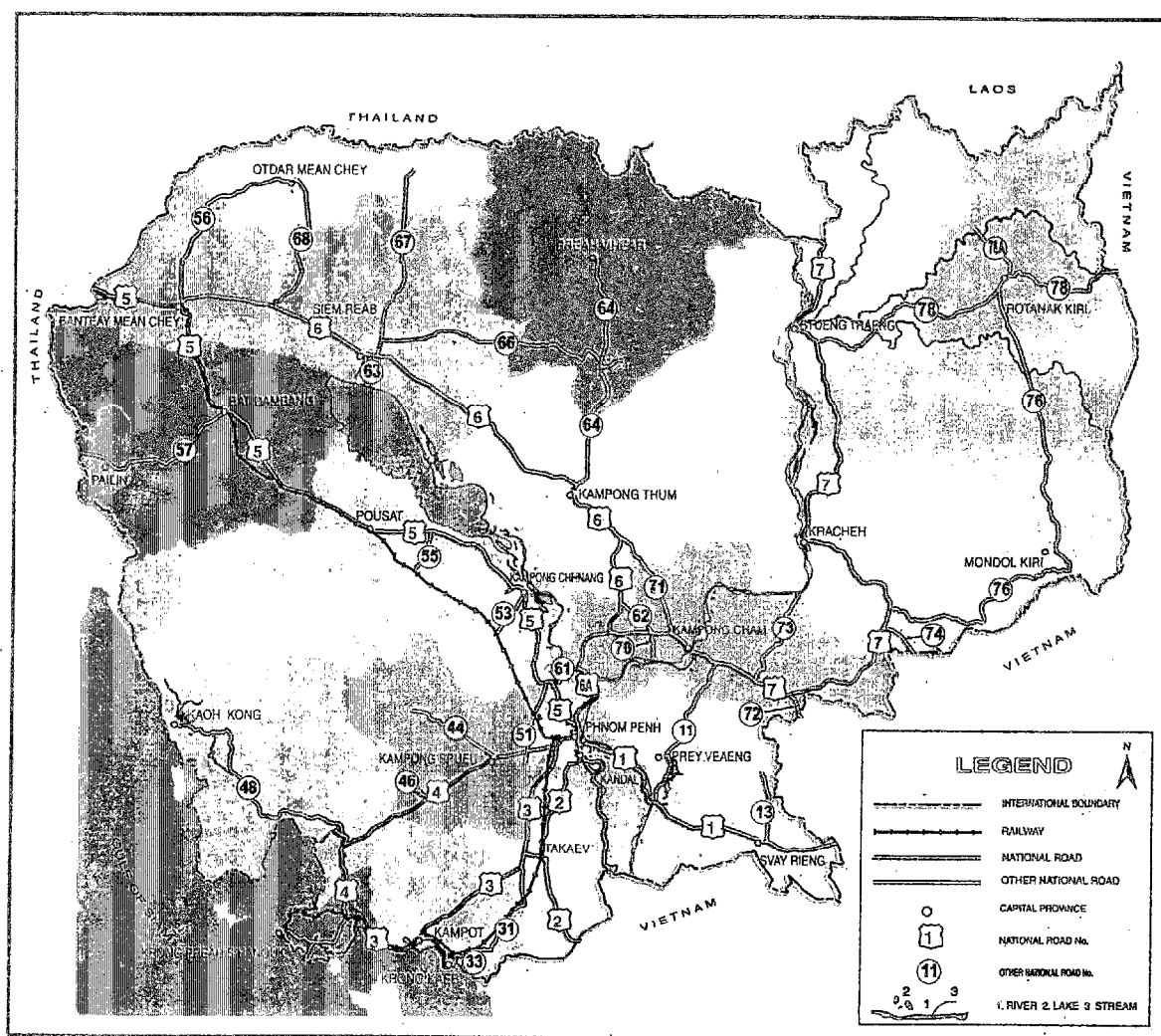


図7-2 全国道路網図（出典：公共事業運輸省）

7 - 1 - 3 開発計画

カンボディアにおける開発計画は、1997年に立案された第1次5か年社会経済開発計画（The First Five Year Socio-Economic Development Plan;1996-2000）に示されている。現在、計画のレビューを行っているところであり、第2次5か年計画が立案されるには時間を要するものと思われる。

公共投資プログラム（PIP）は毎年更新されており現在の公共投資プログラム（2000-2002）では、各セクターごとの投資計画と個別の計画プロジェクト名が記載されている。

参考までに2000年から2002年までの部門別公共投資計画額を別表に示す。

別表 : Public Investment Program (2000-2002)

Program Level Sector Allocations

(On-Going, Committed and High Priority)

	Sector		Sub-Sector	
	US\$ '000	%	US\$ '000	%
Agriculture	164,333	11.7		
Crop Production			27,951	17.0
De-mining			66,158	40.3
Fisheries			28,635	17.4
Forestry			8,244	5.0
Livestock			6,457	3.9
Research and Extension			26,888	16.4
Transport	215,443	15.4		
Aviation			26,887	12.5
Ports and Waterways			7,788	3.6
Rail			8,300	3.9
Roads			172,468	80.1
Communication	87,122	6.2		
Information			15,460	17.7
Telecommunications			71,662	82.3
Energy	75,234	5.4		
Electricity			75,234	100.0
Trade and Industry	15,248	1.1		
Industries Support Service			13,748	90.2
Mining			1,500	9.8
Education	167,973	12.0		
Basic Education			93,315	55.6
Higher Education			11,723	7.0
Technical & Vocational			35,551	21.2
Upper Secondary Education			23,024	13.7
Youth and Sport			4,360	2.6
Religion and Culture	2,457	0.2		
Culture and Fine Arts			2,181	88.3
Religious Affairs			276	11.2
Administration	57,352	4.1		
Development Administration			47,840	83.4
Land Management & Urbanization			9,512	16.6
Water Resources, Water Supply and Sanitations	164,733	11.8		
Health	331,401	23.7		
Environment and Conservation	38,443	2.7		
Social and Community Services	42,792	3.1		
Tourism	2,347	0.2		
Special Programmes	35,122	2.5		
Grand Total	1,400,000			

7-2 自然環境

7-2-1 地形・気象条件

(1) 地形

カンボディアは北緯 10 度～15 度にまたがる亜熱帯圏に位置する。国土の面積は 18 万 1,040km²であり、国土の 40%が低平な平野地形をなす。平野地形はメコン川デルタとトンレサップ盆地で特徴づけられ、標高 30 m以下の低地が北西部国境近くまで広がっている。この 30 m以下の低平地をカンボディア・デルタと呼ぶことがある。

山地はカンボディア・デルタの西側、タイ国境からタイ湾の海岸線に沿って発達するクラヴァーン山脈と、メコン東岸のベトナム国境までの高原山地が主だった山地をなしている。標高 1,000 mを越えるこれらの山地は密林や疎林に覆われている。(図 7-4)

(2) 気象

カンボディアは5月中旬から11月中旬までが雨期で、この間南西からの季節風が吹く。12月から翌年2月中旬までの時期は乾期で、北東からの季節風がふき幾分しのぎやすくなる(図 7-3)。空中写真の撮影適期はこの期間となる。

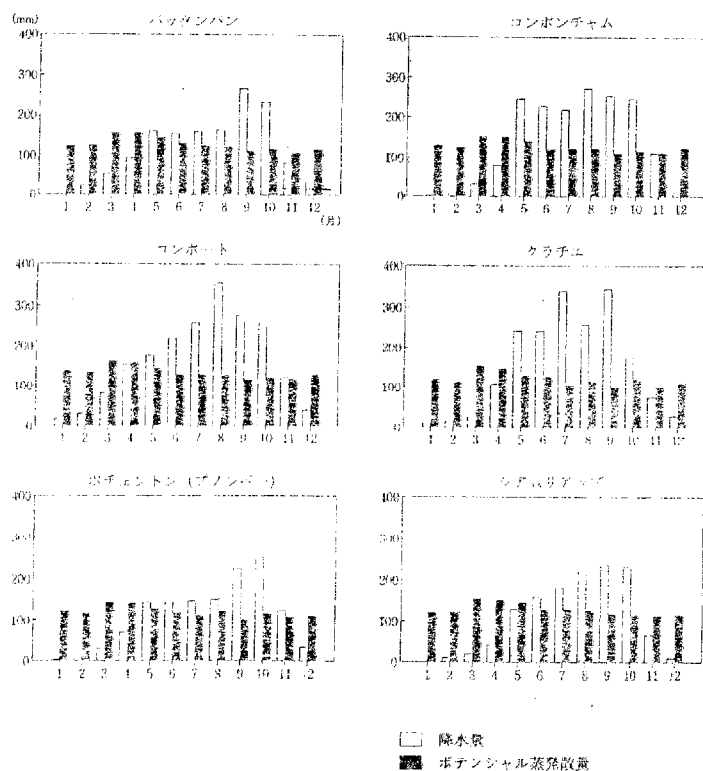


図 7-3 月別平均降水量とポテンシャル蒸発散量

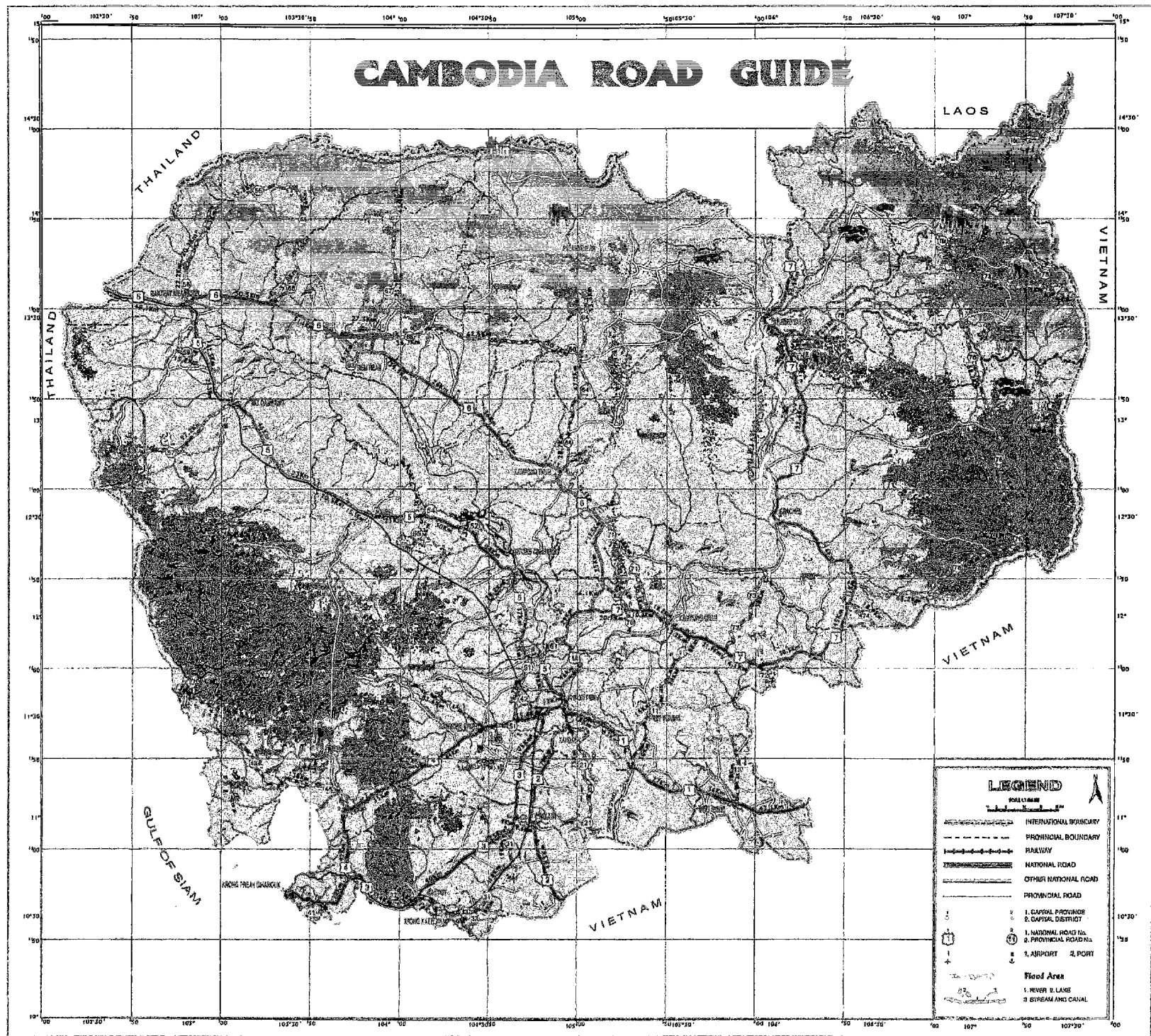


図 7-4 山地と洪水地形の分布

7 - 2 - 2 貴重な自然・森林分布

カンボディアは森林の国ともいわれ、インドシナ半島諸国のなかでは最も自然林が残されている国であるが、自然林の多くは今回調査対象の地域の東北部に見られる。

森林の植生タイプは、山地に見られるフタバガキ科の密林、密林が焼き畑等で疎開された疎林、竹林、メコン川やトンレサップ川沿いの低地に分布する洪水林がある。

密林はタイとの国境からタイ湾の海岸線にそって、クラヴァーン山脈の山々に分布している。カンボディア・デルタの北東側はフタバガキ科の密林、2次林化した疎林が丘陵、高原をなす地形に分布している。

いわゆる焼き畑は森林地にモザイク状に広がっているが、経過年数の長いものは灌木林や、やや樹高の大きい2次林となり、森林に復元しているものが多い。

